

支援プログラム

作成日 2025年 3月 20日

弘前大清光学園

事業所名	法人（事業所）理念	一人ひとりがかけがえのない存在として生きること。				
支援方針	「一人ひとりがかけがえのない存在である」というキリスト教の人間観に基づき、児童が児童の尊厳を常に尊重されながら、意欲と自発性を持ち活動できるよう配慮する。一人ひとりの子どもの成長・発達に向けて丁寧に開拓し、個性・特性に応じた適切な支援により子どもの生きる力を応援し、その家族の育ての力を支え地域社会の中で、健やかに育ち生活できるための実践を心がける。					
営業時間		8 時 30 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
支援内容						
健康・生活	・遊びや粗大運動や戸外活動、感覚統合運動遊びを取り入れ、体力や運動能力の向上を支援します。 ・医療と連携し、家庭での生活状況を把握し、園では活動と休息（午睡）のリズムを整えながら生活全体のリズムを整えられるよう支援します。 ・家庭と連携し、家庭での生活状況を把握し、園では活動と休息（快・不快がわかる、トイレでの排泄に慣れる、定時で誘導し排泄を促す、着衣の上げ下げ、拭き取り等段階を踏まえて支援します。） ・排泄の自立へ向けた支援（食事への興味、咀嚼、嚥下、姿勢保持、道具を使って食事をする等を支援しながら食事を楽しめるよう配慮します。） ・食事の自立へ向けた支援（離乳の脱離手続き、衣類の着脱を段階を踏まえて支援します。） ・着脱の自立へ向けた支援（靴の脱離手続き、身だしなみに意識を持たせ、整容に向けた支援を行います。） ・自分の持ち物や身だしなみに意識を持たせ、整容に向けた支援を行います。					
	・粗大運動…自分で使いたいように動かせる体づくりのための運動遊びに取り組みます。 ・手指運動操作…体を支える役割の手の分離運動（支える・運動）手指操作の向上を支援します。 ・感覚運動遊び…身体感覚を養うための運動を取り入れ実施します（前庭感覚：心身の覚醒・慣れやバランス感覚、固有感覚：力加減・体のどこに力を入れているのか感じ取る、触覚：情緒の安定や識別） ・ビジュアルトレーニング…作業療法士から助言を受け目的の使い方、目と手の協応動作に繋がるよう取り組みます。 ・座位保持椅子、補装具など様々な補助用具を活用して姿勢保持や姿勢運動を促します。 ・自力で身体移動や歩行、車椅子による移動など日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。					
運動・感覚	・粗大運動…自分で使いたいように動かせる体づくりのための運動遊びに取り組みます。 ・手指運動操作…体を支える役割の手の分離運動（支える・運動）手指操作の向上を支援します。 ・感覚運動遊び…身体感覚を養うための運動を取り入れ実施します（前庭感覚：心身の覚醒・慣れやバランス感覚、固有感覚：力加減・体のどこに力を入れているのか感じ取る、触覚：情緒の安定や識別） ・ビジュアルトレーニング…作業療法士から助言を受け目的の使い方、目と手の協応動作に繋がるよう取り組みます。 ・座位保持椅子、補装具など様々な補助用具を活用して姿勢保持や姿勢運動を促します。 ・自力で身体移動や歩行、車椅子による移動など日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。					
	・一人ひとりの認知特性を理解し、適切に動けるよう環境設定を行います。 ・感覚の活用や認知機能の発達を促すために、感覚の受け入れ幅を広げ識別や認知に繋がるよう支援を行います。 ・環境や状況に合わせて行動でさきるよう視覚的な手掛けたりを用いて支援を行います。 ・物の機能や属性、大小、数、量さ、空間（前後左右、上下、広狭）、時間（始まりと終わりの伝達など）等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとなるよう支援を行います。					
認知・行動	・一人ひとりの認知特性を理解し、適切に動けるよう環境設定を行います。 ・感覚の活用や認知機能の発達を促すために、感覚の受け入れ幅を広げ識別や認知に繋がるよう支援を行います。 ・環境や状況に合わせて行動でさきるよう視覚的な手掛けたりを用いて支援を行います。 ・物の機能や属性、大小、数、量さ、空間（前後左右、上下、広狭）、時間（始まりと終わりの伝達など）等の概念の形成を図り、認知や行動の手掛かりとなるよう支援を行います。					
	・言語理解へ向けた支援を行います。（わかる言葉を蓄える事への支援：行動と言葉、活動とこどばを繋げる。） ・食事等での発声器官に繋がる口腔の咀嚼力を高めたり、呼気の調整、発声を促す関わり遊びを通して発語を促しています。					
言語コミュニケーション	・言語理解へ向けた支援を行います。（わかる言葉を蓄える事への支援：行動と言葉、活動とこどばを繋げる。） ・食事等での発声器官に繋がる口腔の咀嚼力を高めたり、呼気の調整、発声を促す関わり遊びを通して発語を促しています。					
	・言語理解へ向けた支援を行います。（わかる言葉を蓄える事への支援：行動と言葉、活動とこどばを繋げる。） ・食事等での発声器官に繋がる口腔の咀嚼力を高めたり、呼気の調整、発声を促す関わり遊びを通して発語を促しています。					
人間関係・社会性	・登園に合わせて1対1の関係のアタッチメント形成から共同注視へ、三項関係を築く、他者と一緒に遊ぶ並行遊びから連合遊び、協同遊びへの発展など遊びを通じた社会性の発達を目指します。 ・集団遊びや日々の朝の会、帰りの会の集会の参加の仕方を学ぶ。					
	・育児相談と関わり方の助言（3者の個別指導、面談にて発達課題の共有） ・保護者勉強会の実施（就学、ペアレントトレーニング、就学見聞の体験談等） ・連絡帳にて相談					
地域支援・地域連携	・併行通園児は併行先に訪問し状況を共有している。隣接の弘前大清水藤子ども園との交流でインクルージョンに向けている。					
	・入園式、保護者参観日、親子レクリエーション、保護者懇談会、社会体育体験活動（買い物体験、電車の乗車体験、教会や消防署見学、園外活動）、食育活動（毎月）、運動会、クリスマス発表会、卒園を祝う会					
本人支援	・就園や移行に向けて移行先との調整 （支環内容の共有で柔軟に移行できるよう支援） ・就学に向けての支援を実施	・就学に向けた支援	・就職員の質の向上			